

令和2年度 授業計画書(シラバス)

課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
学年	3年A組	
科目名	衛生・公衆衛生学	
単位数	2単位	
授業方法と時間数	講義 60時間	
担当教官名	青柳 達也	
授業の内容 (授業科目の概要)	公衆衛生の意義・プライマリーヘルスケア・予防医学・衛生行政・栄養素の摂取状況・食中毒・環境因子による疾病・公害及び地球環境問題・産業保健・精神保健・母子保健・生活習慣病及び感染症対策・消毒・疫学・人口統計などについて学習します。	
到達目標	プライマリーヘルスケア・予防医学・衛生行政について説明又は記述できること。食中毒・栄養欠乏症・各種環境因子による疾患について説明又は記述できること。公害及び地球環境問題について説明又は記述できること。職業病・精神保健・母子保健について説明又は記述できること。生活習慣病及び感染症対策・消毒について説明又は記述できること。疫学・人口統計・衛生統計について説明又は記述できること。	
授業計画	前期:オリエンテーション・公衆衛生の意義・プライマリーヘルスケア・衛生行政・栄養素の摂取状況・食中毒・各種環境因子による疾患・公害)	30
	前期計	30
	後期(地球環境問題・労働法規・職業病・精神保健・母子保健・生活習慣病及び感染症対策・消毒・疫学・人口統計	30
	後期計	30
	年度末計	60
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	理療教育実施細則に基づき、前期期末・後期期末の平均点の学年末評価(小数点第1位切り下げ)が60点以上の場合、単位修得となります。学年末評価が50～59点の場合、再評価(補講・試験)を受けて、再評価試験結果が60点以上で単位修得となります。	
履修上の留意点	6月・11月に形成的評価のため、2回中間試験を行います。時事的なトピックスが含まれる場合があります。	
予習・復習の 進め方	予習は配布した資料をよく読んでおいてください。復習は授業の内容について、まとめのノート(手書き・データ入力・デジター編集など)を作成してください。時事的なトピックスが含まれますので、日ごろよりニュースを聞いておいてください。わからないことがあれば教官に聞いてください。	
使用教科書	高橋昌美編著 一万慶福・薩田清明著「疾病の成立ちと予防」(衛生・公衆衛生学) 桜雲会 刊	
参考書/参考資料	衛生学のまとめ	

令和2年度 授業計画書(シラバス)

課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
学年	3年A組	
科目名	臨床医学各論	
単位数	3単位	
授業方法と時間数	講義 90時間	
担当教官名	絹見昭洋	
授業の内容 (授業科目の概要)	主に内臓器に関する疾患の概念・疫学・症状・診断・治療などについて学びます。	
到達目標	施術者として必要な現代医学の立場からみた系統別疾患の診断及び治療に関する基礎的知識を身に付け、施術に応用する能力と態度を身に付ける。	
授業計画	前期指導内容 オリエンテーション 1. 内科系疾患 (1) 消化器疾患 (2) 呼吸器疾患 (3) 循環器疾患 (4) 血液疾患・造血器疾患 (5) 泌尿器疾患 (6) 生殖器疾患	1 14 6 6 5 9 5
	前期計	46時間
	後期指導内容 1. 内科系疾患(続き) (7) 内分泌疾患、代謝疾患・栄養障害 (8) 膠原病・膠原病類似疾患 (9) 感染症 2. その他各科の疾患 (1) 皮膚科疾患、眼科疾患、耳鼻科疾患 (2) 婦人科疾患 (3) 小児科疾患 (4) 一般外科と麻酔科学 (5) まとめ	10 8 6 6 3 2 5 4
	後期計	44時間
	年度末計	90時間
実務経験の有無 その活かし方	有	あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師(ヘルスキーパー) 臨床で経験した症例と当該科目の授業内容とを関連付けて指導を行います。
成績評価の方法	理教教育実施細則に基づき、前期・後期期末試験の平均点を学年末評価とします。 (小数点第1位は切り捨て)	
履修上の留意点	6月、11月の2回、形成的評価のため中間試験を実施し、授業の理解度を確認します。	
予習・復習の 進め方	特に各疾患の特徴を把握することが重要となります。併せて、関連科目(解剖学・臨床医学総論など)で学習した知識が必要となる場面も多いため、復習を行ってください。	
使用教科書	生活と疾病 (臨床医学各論)上・下巻	
参考書/参考資料	必要に応じて配布	

令和2年度 授業計画書(シラバス)

課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
学年	3年A組	
科目名	リハビリテーション医学	
単位数	2単位	
授業方法と時間数	講義(演習を含む) 60時間	
担当教官名	吉武健二郎	
授業の内容 (授業科目の概要)	リハビリテーション医学の総説、障害の評価と治療、疾患別のリハビリテーション、運動学について学びます。	
到達目標	障害を適切に評価することができる。 障害やその評価に応じた治療、訓練が選択できる。 鍼灸臨床で遭遇する事が多い疾患に対し応用し実践することができる。	
授業計画	前期内容 オリエンテーション 第1編 リハビリテーション総説 第2編 障害の評価と治療 第3編 各疾患のリハビリテーション 第1章 脳卒中 * 授業の進行状況によっては、第3編 第2章 脊髄損傷 第3章脳性麻痺の内容も扱います。 前期中間試験(講評等を含む)	1 5 18 4 2
	前期計	30
	第3編 各疾患のリハビリテーション	22
	第4編 運動のしくみと身体の機能 後期中間試験(講評等を含む)	6 2
	後期計	30
	年度末計	60
	実務経験の有無 その活かし方	有 理学療法士 病院・介護老人保健施設等での理学療法士の経験を活かし、実技や、義肢装具などの観察、触察を行いなじみやすく、わかりやすいように指導します。
成績評価の方法	理教教育実施細則に基づき、前期・後期期末試験の平均点を学年末評価とします(小数点第1位は切り捨て)。	
履修上の留意点	6月、11月の2回、形成的評価のため中間試験を実施します。	
予習・復習の 進め方	教科書に事前に目を通して予習を行ってください。まとめの資料に国家試験の過去問を添付しておりますので各自で目を通し、苦手な要素を分析し、復習をしてください。	
使用教科書	生活と疾病 (リハビリテーション医学と機能再建)	
参考書/参考資料	理学療法ハンドブック【改定第3版】1～3巻 * 必要に応じ配布	

令和2年度 授業計画書(シラバス)

課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
学年	3年A組	
科目名	医療概論(社会保障制度及び職業倫理を含む)	
単位数	2単位	
授業方法と時間数	講義 30時間	
担当教官名	天野光二	
授業の内容 (授業科目の概要)	社会保障制度及び医療制度の課題並びに生命倫理及び職業倫理についての基礎的知識を学びます。	
到達目標	1. 社会保障制度について説明することができる。 2. 医療制度の課題について述べるすることができる。 3. 生命倫理及び職業倫理について述べるすることができる。	
授業計画	前期内容	
	1. オリエンテーション	1
	2. 医学と医療	
	(1) 現代の医学と医療	2
	(2) 社会保障制度 社会保険 社会福祉 公的扶助 公衆衛生及び医療	7
	(3) 現代の医学と医療の課題	4
	前期計	14
後期内容		
3. 生命倫理		
(1) 医の倫理(職業倫理) 倫理とは 医療倫理 施術者としての倫理	8	
(2) ターミナルケア	2	
(3) 自然死、尊厳死、安楽死	2	
(4) 臓器移植と脳死	2	
(5) 体外受精・人工妊娠中絶・胎児診断	2	
後期計	16	
年度末計	30	
実務経験と その活かし方	有	はり師・きゅう師
	医療現場(病院、施術所)での勤務経験を活かして、具体例をあげるなどしてわかりやすく教授します。	
成績評価の方法	前期末と後期末に筆記試験を実施し、その平均点を学年末評価とします。	
履修上の留意点	社会保障制度及び職業倫理に関する指導内容は1単位分を目安とします。	
予習・復習の進め方	普段から、社会保障制度や職業倫理について関心を持ち、関連する情報にふれるように心がけましょう。	
使用教科書	医療と関係法規 改訂第7版	
参考書/参考資料	厚生労働白書。資料は必要に応じて配布します。	

令和2年度 授業計画書(シラバス)

課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
学年	3年A組	
科目名	東洋医学臨床論	
単位数	5単位	
授業方法と時間数	講義 150時間	
担当教官名	安田 晴幸	
授業の内容 (授業科目の概要)	臨床の基礎、各主要症候に対する診察法、施術の適否、最適なあはき施術法について学びます。	
到達目標	めはき師として各主要症候に対し必要な診察法、治療の適否の判断能力、治療が適応であれば治療法を取捨選択し患者に説明ができ、適した施術を行うことが出来ること	
授業計画	オリエンテーション	
	第1編 総論	
	第1章 理療施術の意義とその対象	1
	第2章 診察の基本	
	第3章 治療計画の概要と理療治療の奏効機序	4
	第2編 健康保持増進のための施術	11
	第3編 症候別治療	
	第1章 運動器系の主な症状 頸肩腕・肩こり・腰痛など	2
	第2章 神経系の主な症状 頭痛・神経痛・不眠など	1
	第3章 消化器疾患の主な症状 食欲不振・便秘など	26
	16	
	前期計	75
	第4章 呼吸・循環器系の主な症状 喘息・高血圧など	6
	第5章 耳鼻科・眼科・歯科疾患の主な症状 アレルギー性鼻炎・めまい・顔面マヒなど	8
	第6章 泌尿器科・婦人科系の主な症状	10
	第7章 皮膚科の主な症状・疾患 脱毛など	2
	第8章 全身症状と膠原病・代謝疾患	4
	第4編 高齢者に対する理療施術	
	第1章 老年医学の意義と役割	4
	第2章 高齢者の疾患の特徴と理療施術	6
	第3章 高齢者に多くみられる主な疾患の特徴と理療施術 骨粗しょう 症・パーキンソン病・認知症など	4
	第5編 スポーツ医学と理療施術 第1章 スポーツ医学の意義と役割	8
	第2章 スポーツ傷害の概要 2	1
	第3章 スポーツ医学における理療施術の意義と役割	
	第4章 主なスポーツ傷害に対する理療施術 野球肩・テニス肘・ジャンパー膝・コンパートメント症候群など	10
	第6編 労働衛生と理療施術 第1節 ヘルスキーパーとしての意義と役割	3
	臨床カンファレンスを 適宜実施	4
	国試対策 過去問の解答と解説	5
	後期計	75
	年度末計	150
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	理療教育実施細則の基づき、前期末、後期末評価(何れも筆記試験)の平均点を学年末評価とします。(小数点第1位は切り捨て)	
履修上の留意点	(1)6月、11月の2回、形成的評価のため中間試験を実施します。 (2)各主要症候について、あはき施術の適否の判断が出来るように学習します。	
予習・復習の 進め方	毎回の講義内容を把握し、講義内容に関する項目を事前に学習しておいてください。 また既習の内容については、関連科目(臨各・臨総・東概・経穴など)の内容も含めて振り返り学習してください。各症候の「鑑別に必要な診察のポイント」と「適応疾患の理療施術」は特に重要ですのでノートに疾患ごとにまとめを作成してください。また、臨床実習で担当した患者の訴えと併せて記載し、不明な点はカンファレンスの時間を取りますので積極的に質問・発表をお願いします。 事前・事後の学習は欠かさないようにしてください。	
使用教科書	理療臨床学(あはき師用東洋医学臨床論)全3巻	
参考書/参考資料	カタカナ辞典 過去問	

令和2年度 授業計画書(シラバス)

課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう専門課程	
学年	3年A組	
科目名	臨床診察学	
単位数	1単位	
授業方法と時間数	講義(演習を含む) 30時間	
担当教官名	吉住 寛之	
授業の内容 (授業科目の概要)	<p>施術者として必要な、基本的な医療コミュニケーションと患者理解を踏まえた上で、具体的な医療面接の方法と身体診察による臨床推論について学びます。</p> <p>臨床実習で、診察を適切かつ効果的に行う基本的な知識と技術、態度を修得します。</p> <p>具体的には、患者との信頼関係を築き、必要な情報を収集し、臨床推論の適否を判断する能力を養います。</p>	
到達目標	<p>施術者として、必要かつ適切な医療面接の知識と技術、態度を理解し、それらを合理的かつ協調的に説明・実践することができる。</p> <p>施術者として、臨床推論に必要なかつ適切な身体診察の知識と技術、態度を理解し、それらを効果的かつそつなく説明・実践することができる。</p>	
授業計画	<p>【前期】</p> <p>01. ガイダンス</p> <p>02. 診察の概要と方法</p> <p>03. 医療面接</p> <p>04. 四診による診察(視診・触診・打診・聴診)の進め方</p>	
	前期計	15
	<p>【後期】</p> <p>05. 測定法と各種検査の概要</p> <p>06. 頸腕痛の医療面接と診察 ROM、MMT、反射、徒手検査</p> <p>07. 肩関節痛の医療面接と診察 ROM、徒手検査</p> <p>08. 膝関節痛の医療面接と診察 ROM、MMT、計測、徒手検査</p> <p>09. 腰下肢痛の医療面接と診察 ROM、MMT、反射、徒手検査</p> <p>10. その他の疾患の医療面接と診察</p>	
	後期計	15
	年度末計	30
実務経験の有無 その活かし方	有	<p>あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師</p> <p>治療院での臨床経験を生かし、教科書では充分には伝わらない実際の臨床現場の課題や工夫についてもお話し、臨床実習の参考にしていただきます。</p>
成績評価の方法	<p>理療教育実施細則に基づき、前期末、後期末評価(何れも筆記試験)の平均点を学年末評価とします(小数点第1位は切り捨て)。</p>	
履修上の留意点	<p>(1) 前期・後期の途中に、2回、形成的評価のため、中間試験(観察法による実技評価を含む)を実施します。</p> <p>(2) 各種測定法、検査法、診察法において生体観察にも重点を置き指導をします。</p>	
予習・復習の 進め方	<p>これまで学んできた知識と技術を総動員し、具体的な患者を想定して、臨床診察の目的、手順、方法、反応を常にイメージトレーニングしておいてください。</p> <p>特に2年次に学習した臨床医学総論や応用実習(徒手検査等)についてしっかり復習して授業に臨んでください。</p> <p>また当該授業で学習したものを、臨床実習で実際に実践してみてください。</p>	
使用教科書	<p>生活と疾病 臨床医学総論 盲学校理療教科用図書編纂委員会編 岩本光弘他著 東京点字出版所 理療基礎実習(第2版) 中巻</p>	
参考書/参考資料	<p>必要に応じて配布します。</p>	

令和2年度 授業計画書(シラバス)

課程	専門課程	
学年	3年A組	
科目名	臨床取穴学	
単位数	1単位	
授業方法と時間数	講義(演習を含む) 30時間	
担当教官名	皆川 剛	
授業の内容 (授業科目の概要)	施術者として、施術を適切かつ効果的におこなうための取穴法、選穴法及び配穴法について学習します。	
到達目標	1. 経穴や経脈の歴史や意義を理解することができる。 2. 臨床に役立つツボの使い方を理解し、習得することができる。 3. 上記を踏まえた上で国家試験対策としても学ぶことができる。	
授業計画	(前期) 大項目 ... 取穴法の基礎 小項目 1)取穴姿勢、取穴方向、2)切経と取穴技術の基礎 指導内容 ... 取穴法の基本について学習する。 指導上の留意点 ... 東洋思想に基づいて切経しながら取穴できるよう指導	2
	大項目 ... 選穴法の基礎、配穴法の基礎 小項目 1)選穴法の概要、2)選穴法の原則、3)配穴法の概要、4)配穴法の原則 指導内容 ... 選穴法及び配穴法について、その概要と基本的な原則を学ぶ。 指導上の留意点 ... 具体的な愁訴を例に挙げながら説明し、バランスの取れた配穴ができるよう指導する。	1
	大項目 ... 要穴の概略 小項目 ... 各経の五要穴、五行穴について学ぶ 1)兪穴、2)募穴、3)郄穴、4)絡穴、5)原穴、6)五行穴 指導内容 ... 各経の五要穴、五行穴の特徴とその主治について学習する。 指導上の留意点 ... 各経の五要穴、五行穴の特徴を理解させ、適切に臨床に応用できるように取穴ができるよう繰り返し指導する。 復習と評価	11
		1
	前期計	15
(後期) 大項目 ... 各経の要穴の取穴 小項目 ... 十四経脈 指導内容 ... 各経の経穴を確認しその意義や用い方を学ぶ。 指導上の留意点 ... 確実、かつ素早い取穴ができるよう繰り返し指導する。	7	
大項目 ... その他の要穴 小項目 1)四総穴、2)八会穴、3)八総穴、4)交会穴、5)下合穴 指導内容 ... その他の要穴を確認しその意義や用い方を学ぶ。 指導上の留意点 ... 確実、かつ素早い取穴ができるよう繰り返し指導する。	2	
大項目 ... 組み合わせ穴 小項目 1)六ツ灸、2)小児斜差の灸、3)中風七穴、4)脚気八処の穴 指導内容 ... 経穴を確認しその意義や用い方を学ぶ。 指導上の留意点 ... 確実、かつ素早い取穴ができるよう繰り返し指導する。また、記憶の定着を図るよう工夫する。	2	

	<p>大項目 ... 総合的取穴 小項目 1)横並び穴の取穴、2)局所別取穴 指導内容 ... 取穴法について総合的に学習を行う。 指導上の留意点 ... 臨床に際して実用的に取穴できるよう指導する。</p> <p>大項目 ... 主要症候に対する取穴 小項目 1)頭痛、2)肩こり、3)腰下肢痛、4)腹部の症状、5)神経痛と神経麻痺 指導内容 ... 主要症候について、総合的な見地からの配穴・選穴を学ぶ。 指導上の留意点 ... 他の科目との関連に留意する。</p> <p>復習と評価</p>	1
		1
		2
	後期計	15
	年度末計	30
実務経験の有無 その活かし方	有 あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師 20年以上の臨床経験を活かして、実践的かつわかりやすい指導を行います。	
成績評価の方法	理療教育実施細則のに基づき、前期末、後期末評価の平均点を学年末評価とします。(小数点第1位は切り捨て) 評価は、平常授業と前後期末試験にペーパー試験を実施します。	
履修上の留意点	(1)取穴については生理観察にも重点を置き指導をします。 (2)6月、11月の2回、形成的評価のため中間試験を実施します。	
予習・復習の 進め方	既習の内容について、小テストを授業で行うことで記憶の定着をはかります。	
使用教科書	(1)新版 経絡経穴概論(拡大版) (2)理療基礎実習(全国盲学校長会編) (3)東洋医学臨床論(東洋療法学校協会編)	
参考書/参考資料	必要に応じて配布します。	

令和2年度 授業計画書(シラバス)

課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
学年	3年A組	
科目名	地域理療と理療経営(理療経営学)	
単位数	2単位	
授業方法と時間数	講義 60時間	
担当教官名	天野光二	
授業の内容 (授業科目の概要)	地域社会における理療の役割と施術所経営を中心に進路についての基礎的知識を学びます。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域社会における理療の役割について述べるができる。 2. 施術所経営や医療保険制度等について説明することができる。 3. 進路に関する情報を収集し、問題を解決することができる。 	
授業計画	前期内容 1. オリエンテーション 2. 開業 (1) 理療経営の基礎 (2) 個人による開業	1 29
	前期計	30
	後期内容 2. 開業 (3) 規模の大きい施術所の経営 (4) 社会への貢献 3. 施術に関する保険制度 (1) 医療保険及び公費負担医療 (2) 施術に伴う損害賠償責任保険 4. 介護保険 (1) 介護保険の概要 (2) 介護保険給付の内容 5. 特別講座	14 10 3 3
	後期計	30
	年度末計	60
実務経験と その活かし方	有 はり師・きゅう師	
	医療現場(病院、施術所)での勤務経験を活かして、具体例をあげるなどしてわかりやすく教授します。	
成績評価の方法	前期末と後期末に筆記試験を行い、その平均点を学年末評価とします。 記述式問題を複数出題します。	
履修上の留意点	講義で学習した内容を、各自の進路に応じて個々に深化学習に取り組むため、情報実習室での授業を組み入れます。 予定授業時間数は、前期32時間、後期34時間の計66時間です。授業計画は法定授業時間数を基準とし、適宜、進捗状況により各項目の授業時間数を増減します。 特別講座では、業界の第一線で活躍されている方を招いて講義をします。	
予習・復習の進め方	普段から、あはき業界や時事問題について関心を持つよう心掛けましょう。	
使用教科書	地域理療と理療経営(理療経営学)改訂第7版	
参考書/参考資料	「医療と関係法規」岡村文雄/芦野純夫著 東京点字出版所 資料は必要に応じて配布します。	

令和2年度 授業計画書(シラバス)

課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
学年	3年A組	
科目名	あん摩マッサージ指圧臨床実習	
単位数	2単位	
授業方法と時間数	実習 90時間	
担当教官名	石川 健、岩本 稔、絹見 昭洋、皆川 剛	
授業の内容 (授業科目の概要)	外部の施術協力者に施術を行うことで実践に近い形で実習を行います。	
到達目標	施術所で即戦力となれるような知識、技術、コミュニケーションを習得する。 それぞれの進路にあった技術を習得する。	
授業計画	前期内容 臨床実習 (1)利用者の習熟に合わせて、教官指導の下、再診の施術協力者の医療面接を実施することにより、病態の把握方法、治療計画について習得する。 (2)施術内容を適切にカルテに記録する。	45
	前期計	45
	後期内容 臨床実習 (1)利用者の習熟に合わせて、教官指導の下、初診および再診の医療面接を実施することにより、病態の把握方法、治療計画について習得する。 (2)利用者からの希望と施術協力者の同意により、継続治療を実施する。	45
	後期計	45
	年度末計	90
実務経験の有無 その活かし方	有	あん摩マッサージ指圧師 はり師 きゅう師 施術所での経験を活かし、各病態にあった施術法を教授します。
成績評価の方法	観察記録を基に臨床実習評価表に沿って各学期の中間期、期末期に4人の教官で評価を行います。理療教育実施細則に基づき、前期・後期末評価の平均点を本科目の学年末評価とします。	
履修上の留意点	自身の健康管理に留意するとともに、身体や白衣を清潔に保ちましょう。 リスク管理のためにささいなことでも困り事が発生したら担当教官、実習助手に協力を申し出てください。	
予習・復習の 進め方	事前にカルテを読み、患者の病態について把握しておいてください。 施術後の経過を確認し、施術効果について考察してください。	
使用教科書		
参考書/参考資料	必要に応じて配布します。	

令和2年度 授業計画書(シラバス)

課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
学年	3年A組	
科目名	はりきゅう臨床実習	
単位数	2単位	
授業方法と時間数	実習 102時間	
担当教官名	今泉正博 皆川 剛	
授業の内容 (授業科目の概要)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 鍼灸実習では臨床実習協力者を被術者として、模擬的な鍼灸臨床実習を実施します。 2. 臨床実習では症状・疾患の鑑別診断から鍼灸治療までの治療の実際について臨床実習協力者の診療現場に参加することを通して学習します。 3. 現実的な臨床の場を想定しつつ物理療法等も組合せ、より効果的な施術が行えるよう練習します。 	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 理療師として必要な基本的な心構えと態度(礼儀作法、言葉づかい、身だしなみ、接遇態度など)を実践できること。 2. 病態把握とそれに応じた鍼灸治療の実際を理解し、教官の指導のもとで実施できること。 3. 臨床実習室にある備品、消耗品の取り扱い方について理解し、安全に使用することができること。 4. 臨床実習室にある各種医療機器の操作法について、使用上の注意も含めて理解し、教官の指導のもとで適切に使用できること。 5. 施術プランに応じて決められた時間内に一定の効果を出すことができること。 6. 臨床実習の内容をカルテとして作成できること。 	
授業計画	前期内容 臨床実習	48
	<ol style="list-style-type: none"> 1. はり師、きゅう師の実技指導の一環として、教官の指導の下、臨床実習協力者に対して診察手順、施術方法、待遇の仕方等を臨床経験を合わせて実施します。そのことで技術の習得と施術者としての心構えを養います。 2. 実習の記録を適切にカルテに記録します。 	
	前期計	48
	後期内容 臨床実習	54
	<ol style="list-style-type: none"> 1. はり師、きゅう師の実技指導の一環として、教官の指導の下、臨床実習協力者に対して診察手順、施術方法、待遇の仕方等を臨床経験を合わせて実施します。そのことで技術の習得と施術者としての心構えを養います。 2. 実習の記録を適切にカルテに記録します。 3. 利用者からの希望と施術協力者の同意により、継続治療を実施します。 	
後期計	54	
年度末計	102	
実務経験の有無 その活かし方	有 (皆川のみ)あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師 20年以上の臨床経験を活かして、実践的かつわかりやすい指導をおこないます。	
成績評価の方法	理教教育実施細則に基づき、前期・後期期末試験の平均点を学年末評価とします。(小数点第1位は切り捨て)	
履修上の留意点	<ol style="list-style-type: none"> 1. 理療師として必要な基本的態度や心得(守秘義務等)を守ります。 2. 各種治療技術・物療器具・治療器具を的確に選定し、実践できるよう心がけます。 3. 衛生管理・リスク管理について常に心がけます。 4. 授業で履修していない治療方法などは行わないでください。 	
予習・復習の 進め方	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事前にカルテを読み、患者情報の把握に努めます。 2. 経験した患者の病態について成書等で確認しておきます。 	
使用教科書	理療基礎実習 上巻・中巻・下巻	
参考書/参考資料	「臨床実習の心得」を配布します。	

令和2年度 授業計画書(シラバス)

課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
学年	3年A組	
科目名	あん摩マッサージ指圧の歴史と理論	
単位数	2単位	
授業方法と時間数	講義 60時間	
担当教官名	岩本 稔	
授業の内容 (授業科目の概要)	あん摩マッサージ指圧の歴史を学ぶとともに基本手技や治効理論について学びます。また、関連する生体機序や学説も学びます。	
到達目標	あん摩マッサージ指圧の理論を学ぶことで、根拠に基づいた治療計画を立てれるようにする。また国家試験合格に向けた知識の定着を行う。	
授業計画	前期内容 オリエンテーション (1) あん摩の基礎と歴史 (2) マッサージの基礎と歴史 (3) 指圧の基礎と歴史 前期中間評価及び講評 (4) その他の関連する治療法 (5) あん摩マッサージ指圧の臨床応用 前期期末評価及び講評	1 5 7 6 2 6 3
	前期計	30
	後期内容 (6) リスク管理 (7) あん摩マッサージ指圧の基礎理論 後期中間評価と講評 (8) あん摩マッサージ指圧の治効理論 (9) 関連学説 後期期末評価及び講評 (10) 国家試験過去問を使った総復習	5 7 2 7 6 3
	後期計	30
	年度末計	60
実務経験の有無 その活かし方	有	あん摩マッサージ指圧師 はり師 きゅう師 病院、接骨院の経験を活かし、あん摩の理論を基にした施術の考え方を指導します。
成績評価の方法	各学期の中間期・期末に評価を行います。理療教育実施細則に基づき、前期末、後期末評価(何れも筆記試験)の平均点を学年末評価とします(小数点第1位は切り捨て)。	
履修上の留意点	実技を交えながら基本手技を指導します。	
予習・復習の 進め方	生理学、解剖学等関連科目と併せて予習・復習してください。また、学習した理論を臨床実習で活用することで復習し、身につけてください。	
使用教科書	保健基礎理療実習2(保健理療理論)	
参考書/参考資料		

令和2年度 授業計画書(シラバス)

課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
学年	3年A組	
科目名	はりきゅう臨床実習	
単位数	2単位	
授業方法と時間数	実習 90時間	
担当教官名	天野 光二 田端 里美	
授業の内容 (授業科目の概要)	1. 鍼灸実習では臨床実習協力者を被術者として、模擬的な鍼灸臨床実習を実施します。 2. 臨床実習では、症状・疾患の鑑別診断から鍼灸治療までの治療の実際について臨床実習協力者の診療現場に参加することを通して学習します。 3. 現実的な臨床の場を想定しつつ物理療法等も組合せ、より効果的な施術が行えるよう練習します。	
到達目標	1. 理療師として必要な基本的な心構えと態度(礼儀作法、言葉づかい、身だしなみ、接遇態度など)を身に付け実践できる。 2. 病態把握とそれに応じた鍼灸治療の実際を理解し、教官の指導のもとで実施できる。 3. 臨床実習室にある備品、消耗品の取り扱い方について理解し、安全に使用することができる。 4. 臨床実習室にある各種医療機器の操作法について、使用上の注意も含めて理解し、教官の指導のもとで適切に使用できる。 5. 施術プランに応じて決められた時間内に一定の効果を出すことができる。 6. 臨床実習の内容をカルテとして作成できる。	
授業計画	前期内容 臨床実習 1. はり師、きゅう師の実技指導の一環として、教官の指導の下、臨床実習協力者に対して診察手順、施術方法、待遇の仕方等を臨床経験を合わせて実施します。そのことで技術の習得と施術者としての心構えを養います。 2. 実習の記録を適切にカルテに記録します。	
	前期計	42
	後期内容 臨床実習 1. はり師、きゅう師の実技指導の一環として、教官の指導の下、臨床実習協力者に対して診察手順、施術方法、待遇の仕方等を臨床経験を合わせて実施します。そのことで技術の習得と施術者としての心構えを養います。 2. 実習の記録を適切にカルテに記録します。 3. 利用者からの希望と施術協力者の同意により、継続治療を実施します。	
	後期計 年度末計	48 90
実務経験の有無 その活かし方	有 天野 光二 医療機関での鍼灸臨床経験を活かしてわかりやすく指導します。 無 田端 里美	
成績評価の方法	理教教育実施細則に基づき、前期・後期期末試験の平均点を学年末評価とします。(小数点第1位は切り捨て)	
履修上の留意点	1. 理療師として必要な基本的な態度や心得(守秘義務等)を守りましょう。 2. 各種治療技術・物療器具・治療器具を的確に選定し、実践できるよう心がけましょう。 3. 衛生管理・リスク管理について常に心がけましょう。 4. 授業で履修していない治療方法などは行ってはいけません。	
予習・復習の 進め方	1. 事前にカルテを読み、患者情報の把握に努めましょう。 2. 経験した患者の病態について成書等で確認しておきましょう。	
使用教科書	理療基礎実習 上巻・中巻・下巻	
参考書/参考資料	「臨床実習の心得」を配布します。	

令和2年度 授業計画書(シラバス)

課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
学年	3年生	
科目名	課題研究	
単位数	1単位	
授業方法と時間数	講義 15時間	
担当教官名	石川 健	
授業の内容 (授業科目の概要)	国家試験に出題傾向を基に主要疾患に関して解剖学、生理学と関連づけて知識の整理ができるよう、疾患の概念、病態生理、原因、症状、検査の要点及び主な症状の発症機序について学びます。	
到達目標	疾患の概念、原因を正しく理解し、その主な症状について解剖学や生理学の見地から説明できること。また得られた身体所見から、あはき臨床の適否判定ができること。	
授業計画	通年、隔週に実施。 【前期】 第1回 消化器系の疾患と主要徴候1 第2回 消化器系の疾患と主要徴候2 第3回 呼吸器系の疾患と主要徴候1 第4回 呼吸器系の疾患と主要徴候2 第5回 循環器系の疾患と主要徴候1 第6回 循環器系の疾患と主要徴候2 第7回 泌尿器系の疾患と主要徴候1 第8回 泌尿器系の疾患と主要徴候2	
	前期計	8
	【後期】 第9回 内分泌・代謝疾患と主要徴候 第10回 血液・免疫系の疾患と主要徴候 第11回 整形外科系の疾患と主要徴候1 第12回 整形外科系の疾患と主要徴候2 第13回 神経系の疾患と主要徴候1 第14回 神経系の疾患と主要徴候2 第15回 その他の関連疾患	
	後期計	7
	年度末計	15
実務経験の有無 その活かし方	有	あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師 鍼灸整骨院での実務経験を活かし、施術者として必要な主要疾患の知識について解説します。
成績評価の方法	理療教育実施細則に基づき、前期・後期期末試験の平均点を学年末評価とします。(小数点第1位は切り捨て)	
履修上の留意点	この科目は1単位15時間の隔週授業となりますが、授業のない週の同じ曜日・時限に前回授業テーマに関して、1、2年次履修済み科目と関連づけた復習の時間を設けます。科目間の関連づけから、より深い理解を得られるように支援します。その週の出席は任意としますが、特に指名を受けた方は出席して下さい。	
予習・復習の 進め方	1. 解剖学、生理学、臨床医学総論、理療臨床医学各論、臨床医学各論との関連に留意して予習・復習してください。 2. 他の科目に比較して授業時間数が少ないことで知識の定着が難しい可能性がありますので、普段から計画的な反復・継続学習(週2回、各1時間程度)に取り組んでください。	
使用教科書	生活と疾病 (臨床医学各論) 第3版 上・下巻 盲学校理療科用図書編纂委員会編、	
参考書/参考資料	1. 解剖学 第2版 盲学校理療科用図書編纂委員会編、河村邦雄著 2. 生理学 第2版 盲学校理療科用図書編纂委員会編、佐藤優子他著 3. 生活と疾病 (臨床医学総論) 第2版 盲学校理療科用図書編纂委員会編 その他、必要に応じて配布します。	

令和2年度 授業計画書(シラバス)

課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
学年	3年A組	
科目名	あん摩マッサージ指圧臨床実習	
単位数	1単位	
授業方法と時間数	実習 30時間	
担当教官名	石川 健、皆川 剛	
授業の内容 (授業科目の概要)	外部の実習協力者(患者)への施術を通して、施術者として必要なあん摩マッサージ指圧臨床に関する知識と技能について学びます。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 設備や備品の管理、清潔の保持(消毒を含む)ができること。 2. 他の科目で学習した知識や技能を活用し、適切かつ効果的な診察や治療ができること。 3. 施術適否の判定ができること。 4. 適切な施術録の記録等を通して実習のまとめができること。 	
授業計画	<p>毎回、概ね以下の一連の実習を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実習前の準備 清潔な白衣の着用、ベッドメイク、施術録及び予診票の下読み、手指洗浄・消毒、手ぬぐい等備品の用意など。 2. 教官とのミーティング(患者情報の共有化) 3. 医療面接及び身体診察 4. 施術適否の判定・治療方針の決定 5. 施術の実践 6. 施術終了時に、教官とともに施術効果の評価・判定 7. ベッド周りや各種備品の跡片付け 8. 施術録の記入 9. 教官による施術録のチェック・修正 10. 実習のまとめ(教官による個別の助言、必要に応じてカンファレンス等の実施) 実習初期は予診室にて教官主導で診察を進めます。 	
	前期計	15
	<p>基本的には前期と同様の計画で進めます。ただし、後期では利用者主導でベッドサイドにて診察を行います。また実習協力者の同意が得られれば、継続施術が可能となります。</p>	
	後期計	15
	年度末計	30
実務経験の有無 その活かし方	有	<p>あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師</p> <p>施術所経営や勤務経験を活かし、実際の臨床で有効な診察法のポイントや最小刺激で最大効果を発揮できる手技療法などを適宜紹介するとともに、視覚障害の程度や進路の希望に配慮することにより、適切かつ効果的なあん摩マッサージ指圧施術ができるようになるよう支援します。</p>
成績評価の方法	<p>理療教育実施細則及び臨床実習評価表に基づき、前期・後期期末評価の平均点を学年末評価とします。(小数点第1位は切り捨て)</p>	

履修上の留意点	この授業は実際には2時間続きの授業として行われ、一部はあま指臨床実習 の評価と共有して取り扱われます。 普段から自身の健康管理に努めるとともに、体調不良の場合には必ず担当教官に申し出てください。また施術中に施術過誤等が発生した場合は早急に担当教官または実習助手に報告するように心がけてください。
予習・復習の進め方	事前に施術録を必ず確認するとともに、普段から東洋医学臨床審の教科書等を活用して診察や施術方法の要点について調べるよう心がけてください。
使用教科書	
参考書/参考資料	1. 理療基礎実習 第2版 東京都立文京盲学校理療科研究会 日本ライトハウス 2. 臨床理療学(理療臨床論)改訂 第4版 オリエンス研究会 岡山ライトハウス